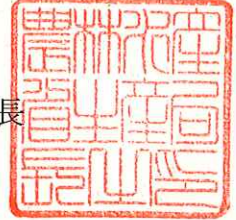


2 生産第 1572 号
2 食産第 4770 号
令和 2 年 12 月 10 日

一般社団法人日本ショッピングセンター協会会長 殿

農林水産省生産局長



農林水産省食料産業局長



野菜の利用拡大に向けた取組に係る協力依頼について

食料産業を担う各業界の皆様におかれましては、平素より農林水産行政に御理解・御協力を賜り、また、日頃から国産野菜を積極的に御活用いただいていることに厚く御礼申し上げます。

さて、今秋は、気候が良好に推移し、台風の上陸等の被害もなかったことから、全国的に野菜の生育が良好で、はくさい、キャベツ等の葉物野菜を中心に、出荷量が増加する一方、卸売市場での価格が大幅に下落しているため、さらなる利用の拡大が望まれているところです。

さらに、今後も暖冬が続けば、当面は安値傾向で推移することが見込まれます。

つきましては、各業界団体の皆様におかれましては、加盟の各企業様において、野菜の利用拡大に向けた下記の取組等を御検討いただくよう、御協力をお願い申し上げます。

なお、厚生労働省が推進する健康作り運動「健康日本21」では、健康増進の観点から1日350g以上の野菜を食べることを目標にしていますが、現在の摂取量は平均して280g程度であるため、消費拡大の余地は大きく、積極的な取組が求められています。

記

(取組例)

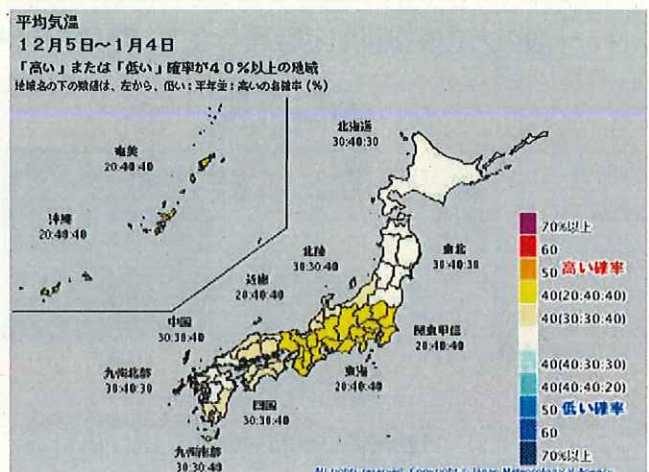
- 野菜を使うメニューの調味料（鍋スープやドレッシング）とタイアップした野菜の消費拡大キャンペーン
- 野菜を豊富に使用したレシピや商品アレンジの提案
- 野菜を豊富に使用した新メニューの提案
- 既存メニュー・商品への野菜増量タイプ、トッピング等の追加
- 販売サイトにおける野菜の消費拡大キャンペーンの実施

「野菜を食べよう」プロジェクトに参加しませんか？

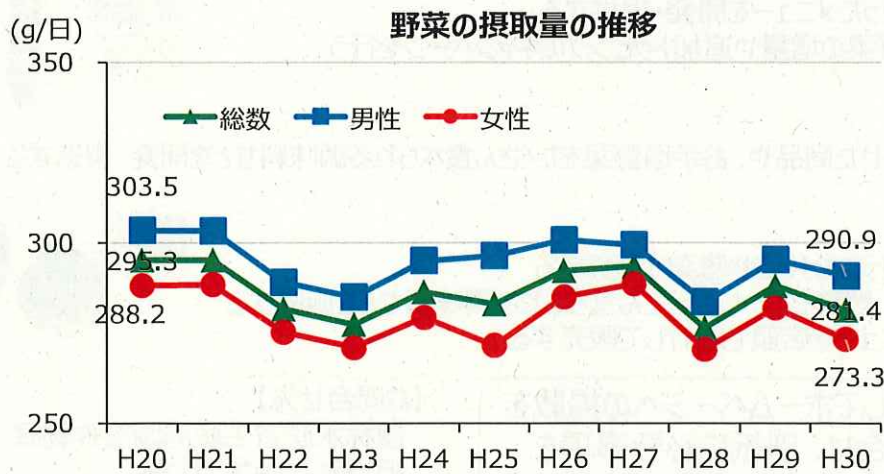
- ◆ 今秋は、気候が良好に推移し、全国的に野菜の生育が良好となり、出荷量が増加したため、野菜の価格が大幅に低落しています。
- ◆ 今後も暖冬が続けば、当面は安値傾向で推移すると見込まれます。

	11月下旬の 入荷量	価格 (12/7(月))
だいこん	4,105トン (平年比130%)	48円/kg (平年比62%)
はくさい	4,036トン (平年比100%)	23円/kg (平年比38%)
キャベツ	4,322トン (平年比107%)	47円/kg (平年比53%)
レタス	2,106トン (平年比113%)	111円/kg (平年比47%)

資料：東京都中央卸売市場



- ◆ 一方、我が国の1人1日当たりの野菜摂取量は、280グラム程度で、目標である350グラムを大きく下回る状況となっています。
- ◆ このため、農林水産省では、お手頃価格の野菜の消費拡大を図る「野菜を食べよう」プロジェクトを実施しています。



目標の350gに
70g程度不足

農林水産省

- ◆ 農林水産省は、SNSやホームページを通じて消費者にお手頃価格で購入できる野菜について情報提供し、お手頃野菜の消費拡大を促します。

農林水産省が取り組むこと

- 公式Facebook、Twitter等を通じて**お手頃野菜とそれを使ったメニュー**をご紹介します
- 「野菜を食べよう」プロジェクトのホームページを通じて、レシピや食品事業者の取組を発信します
特に、本プロジェクトに賛同し、野菜の消費拡大と一緒に取り組んでいただく事業者を「**野菜サポーター**」としてホームページでご紹介します
- 毎週の小売価格調査と毎月の卸売価格の見通しの公表時に、お手頃野菜を使ったメニューを紹介します
- 一般の方も多数訪れる職員食堂で、野菜をたくさん使ったメニューを提供します



写真提供：(独)農畜産業振興機構「ベジヤス」
【野菜を使ったメニューの例】



野菜サポーターの
企業名とホーム
ページへのリンクを
掲載します

【「野菜を食べよう」プロジェクト ホームページ】

- ◆ 外食産業・食品製造業・小売業の皆様には、**野菜をたくさん使ったメニューの開発や既存メニューへの野菜使用の増量など野菜の消費拡大にご協力**をお願いいたします。
- ◆ また、本プロジェクトに賛同し、野菜の消費拡大と一緒に取り組んでくださる食品事業者の皆様を「**野菜サポーター**」としてホームページでご紹介します。

食品事業者の皆様にご協力いただきたいこと（取組例）

外食産業

- お手頃野菜をたくさん使ったメニューを開発・提供する
- 既存メニューでお手頃野菜の増量や追加トッピングのキャンペーンを行う

食品製造業

- 野菜の使用量を増加させた商品や、お手頃野菜をたくさん食べられる調味料などを開発・製造する

小売業

- お手頃野菜をたくさん使ったお弁当や惣菜を販売する
- お手頃野菜と合わせて、野菜をおいしくたくさん食べられる調味料などを販売する
- お手頃野菜を使ったメニューを店頭で紹介して販売する



★「野菜サポーター」としてホームページへの掲載をご了解いただける場合は、別紙に必要事項を記載の上、担当者あてご連絡をお願いいたします

【お問合せ先】

農林水産省生産局園芸作物課
担当者：岡本、片桐
電話 03-3502-8111（内線4791）
ダイヤルイン 03-3502-5958
FAX 03-3502-0889

詳しくは「野菜を食べよう」ホームページをご覧ください
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai/2ibent.html>